

# 第1学年 国語科（図書館教育）学習指導案

福岡市立〇〇小学校  
指導者 〇〇 〇〇

## 1 単元名 みんなでよもう みいつけた

## 2 単元目標

- 文章の内容と自分の経験を結びつけながら、事柄の順序に気をつけて内容の大体を読み取ることができる。
- 図書館の利用の仕方や図鑑の使い方を知り、自分のめあてに沿って調べることができる。

## 3 指導の考え方

- 本学級は、1学期に「くちばし」で初めての説明文を学習した。ほとんどの児童は、読み進めていく中で問いの文と答えの文がどういう順番で書かれているか構成を読み取り、挿絵とつないでくちばしの特徴を理解することができた。しかし、事柄の順序に気をつけて、問いの文に対応した答えの文をみつけることができず、くちばしの働きや特徴を理解できていない児童もいた。

読書活動においては、本を読むことが好きな児童が多く、毎週火曜・金曜の朝に行く「読書タイム」では図書館やわくわく文庫で借りた本を熱心に読んでいる。しかし、文章が比較的短く内容が分かりやすい読み物を読んでいる児童が多く、多様な分類の本を読もうとする態度を育てることが必要である。また、調べ学習をする経験が少なかったり、配架や分類についての知識が少なかったりするため、自分の必要に応じて本を選び、活用しようとする態度の育成も必要である。

- 本単元は、2学期で初めての説明的文章で、虫探しをする児童の目と心になって書かれた作品である。文章全体を見ると、「どうしたら、みつけることができるでしょうか。」という問いに対し、3種類の虫についての答えが並記された構成であり、事柄の順序が分かりやすく説明されている。児童の身近な虫について説明された文章であり、自分の経験と結びつけて読むことが容易なため、意欲的に読み進めることができると考える。

また、①どこにいるか、②どんな特徴のある虫か、③どうすると見つけられるかの3点がどの虫についても書かれており、文章の構成をとらえ、事柄の順序に気をつけながら読み取る力をつけるのに、適した教材である。

さらに、本単元の発展学習として、自分の決めた虫の生態について3つの視点から調べる学習を位置づけることができ、図書館の利用の仕方や図鑑の使い方について理解を図る上でも、価値のある単元である。

- 本単元の指導にあたっては、まず自分が知っている生きものや飼ったことのある生きものについて交流し合い、学習内容に興味・関心をもたせる。

次に、問いの文を探し、答えにあたる文を読み取る。何がどういう順番で書かれているのか分かりやすくするために、①どこにいるか、②どんな虫か、③どうしたら見つけることができるか、の観点ごとに読み取らせ、学習プリントにまとめさせる。

さらに、「みいつけた」の説明文の学習をもとに、自分の調べてみたい虫を決め、3つの観点で調べるめあてをもたせる。その際、自分の知りたい情報を探することができるように、簡単な図書の配架と分類について知らせたり、図鑑は目次や索引を活用すると早く調べることができたりすることに気づかせる。調べたことをまとめる段階では、「みいつけた」で学習した3つの観点を示した「いきものカード」を準備する。

最後に、調べた「いきものカード」を発表し合い、学習を振り返るとともに、活動の満足感が味わえるようにする。

#### 4 指導計画（全8時間）

- 第1時 全文を読み、知っている生きものや虫を探したり飼ったりした経験について話し合う。
- 第2時 問いの文を探して、だんごむしの見つけかた（答え）を読み取る。
- 第3時 せみの見つけかたを読み取る。
- 第4時 ばったの見つけかたを読み取る。
- 第5時 3種類の虫の見つけかたを振り返り、自分が調べてみたい虫について話し合う。
- 第6時 図書館の利用の仕方や図鑑の使い方（目次と索引）を知る。
- 第7時 自分の調べたい生きものについて調べ、「いきものカード」を作る。（本時）
- 第8時 「いきものカード」をもとに、調べた虫について発表し合う。

5 本時 平成23年10月17日（月） 5校時 ○○小学校 図書館

#### 6 本時の目標

- 図鑑を使って、自分の決めた虫について調べ、3つの観点から「いきものカード」にまとめることができる。

#### 7 本時の指導の考え方

児童は、前時までに、「みいつけた」の説明文において、①どこにいるか、②どんな虫か、③どうしたら見つけることができるかの観点に沿って、読み取る学習をしてきた。また、その発展学習として、自分の調べたい虫を決め、3つの観点から調べるめあてをそれぞれ設定している。その際、図鑑が置いてある場所や図鑑の種類、どんなときに使うのかを知らせるとともに、目次と索引を活用すれば早く必要な情報を得ることができることに気づかせている。

そこで、本時では、前時で学習した図鑑の使い方を振り返り、実際に図鑑を使って自分が決めた虫について調べることができるようにしたい。そのために、まず、児童が自分に必要な図鑑を容易に探すことができるようにするため、図鑑を机に並べる。その際、必要な図鑑をなかなか探し出せない児童のために、調べたい虫ごとにグループ化し、児童同士で教えやすい場をつくる。

次に、探してきた図鑑の中から、自分の調べたい虫を見つけ、3つの観点からカードにまとめさせる。自分の調べたい虫が見つからない児童には、友だちに尋ねさせたり調べ方を振り返らせたりする。また、カードの書き方が分からない児童には、第2時～第4時までまとめた「いきものカード」を振り返らせ、まとめる観点を確認させる。

最後に、活動を振り返り、自分のできたことを確認し、調べることの楽しさや満足感を味わわせ、自分が知りたいことを調べてみたいと思うきっかけにしたい。

#### 8 準備

「いきものカード」用紙（掲示用・児童用） 昆虫に関する図鑑  
昆虫図鑑の中のページ（掲示用） 目次・索引のページ（掲示用）

9 本時の展開

時	学習活動と内容	支 援	資料・準備
2	1、本時のめあてを知る。		
	ずかんをつかって、じぶんのきめたむしのことをしらべ、 「いきものカード」をつくろう。		
10	2、図鑑の使い方を振り返る。  ・目次・索引を使わず、初めからページをめくって、写真を見ながらいきものをさがす。 ・図鑑の前の方に書かれている目次を使って、いきものをさがす。 ・図鑑の後ろの方に書かれている索引を使って、いきものをさがす。  ○調べたい内容が分かっている時は目次、調べたいものの名前が分かっている時は索引を見て調べることを確認する。	○昆虫図鑑の中のページ、目次・索引のページを拡大しておく。	・昆虫図鑑の表紙と中のページを拡大した紙
25	3、自分に必要な図鑑を探して虫について調べ、「いきものカード」に書きまとめる。	○児童が必要な図鑑を容易に探せるよう、昆虫に関する図鑑を机に並べておく。 ○調べたい虫ごとに児童をグループ化し、児童同士で教え合うことのできる場をつくる。 ○第2時～第4時の学習で、観点ごとに読み取ったことを書きまとめた「いきものカード」を掲示し、書き方が分からなくなったらいつでも見て参考にできるようにする。	・昆虫に関する図鑑 ・「いきものカード」(掲示用・児童用)
5	4、作った「いきものカード」を発表する。	○いきものカードができた児童を指名し、みつけた本の名前とカードの内容を発表させる。	
2	5、本時の学習のまとめをする。	○自分の必要な図鑑を探すことができたか、いきものカードに調べたことを書き込むことができたかを振り返らせる。	
1	6、次時の学習を知る。	○いきものカードを完成させ、みんなで発表し合うことを知らせる。	